

県道山口防府線の道路渋滞対策について

1 これまでの取組

(1) 状況把握のための調査

- 交通量調査、渋滞長調査、旅行速度調査、交差点解析、OD（起終点）調査等により現状の交通実態を把握

(2) 対策の検討

- 渋滞の要因は、**容量不足**、信号待ちによる**先詰まり**、**沿道店舗への出入り**等が考えられる。
- 容量不足**に対しては、約40%が通過交通であることから、**別線整備**により通過交通を転換させる。
- 沿道出入り等**により、速度低下を招いているため、**区画線の改良**（中央ゼブラゾーンの設置、右折レーンの拡大）による走行性の向上を図る。

渋滞要因	対策メニュー	対策内容	実現性
容量不足	路線整備	別線の整備による通過交通の転換	△
	信号現示の変更	信号現示の変更により容量不足の解消（現状では対策済）	交差点改良に合わせ検討
先詰まり	信号の制御	信号の制御による先詰まりの解消（現状では対策済）	交差点改良に合わせ検討
沿道 出入り等	区画線の改良	中央ゼブラゾーンの運用（沿道出入り車両が中央ゼブラゾーンを活用することで後続車の走行性向上）	○
		右折レーンの設置（本線走行車両の走行性向上）	○
	沿道出入りの制限	センターラインへのポール設置（地元合意が得られない）	—
		沿道出入り箇所の再配置（地元合意が得られない）	—

(3) 対策案

①短期：区画線の改良による走行円滑性の向上（R4一部施工済み）

- ・**中央ゼブラゾーンを設置**し、沿道出入り車両の待避スペースとして活用することで後続車の走行性向上を図る。
- ・滞留長が不足している交差点の**右折レーン長を拡大**し、本線通行車両の走行性を向上させる。

②中長期：交通の転換を図るための対策

■通過交通の転換

- ・湯田温泉等の市内中心部 ⇄ 防府・周南以東方面間の通過交通が多いため、**国道262号等に転換させる**ことを検討



